

未来医療研究人材養成拠点形成事業
 選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント
 [テーマB：リサーチ・マインドを持った総合診療医の養成]

		整理番号	B - 7
申請担当大学名 (連携大学名)	三重大学		
事業名	三重地域総合診療網の全国・世界発信		
事業責任者	家庭医療学総合診療科教授 竹村 洋典		
事業の概要			
<p>三重県全地域に地域医療学講座を設立して、総合診療医を効果的に育成 良質な総合診療医を育成する指導医を育成(「アカデミックGPコース」)、その医師を全国へ派遣</p> <p>チーム医療の要となるため、卒前教育から卒後臨床研修で多職種連携教育カリキュラムを構築(「多職種協働のチーム医療プログラム」)</p> <p>地域住民のニーズに合致する医療・保健・福祉、そして地域の問題などを明らかにする調査リサーチマインドを持った総合臨床医を育成するために全学そして他大学とともに公衆衛生大学院的な「総合診療医のためのPhDコース」を設置</p> <p>女性医師が働ける、または家庭でも総合診療能力を維持できる環境を構築</p> <p>海外の発展途上国などでも医療、保健や医学教育の支援ができる人材を育成(「海外総合診療医チャレンジコース」)、その人材派遣のための仕組みを構成</p>			
推進委員会からの主なコメント			
：優れた点等、：改善を要する点等			
<p>将来の総合診療指導医養成にむけて、臨床とリサーチの両者でバランスが良いプログラムを予定している。</p> <p>地域での指導者への教育的サポートを行う点も評価される。</p> <p>総合診療医育成の指導者の養成は重要なポイントである。</p> <p>連携体制も充実している。</p> <p>県内の多様な教育機関との連携プログラムは、三重県内の人材育成が包括的に可能となると期待できる。</p> <p>多職種連携がカリキュラム上に位置付けられていることは評価できる。</p> <p>女性医師の活用を重視し、具体的なキャリア支援策を提示している。</p> <p>地域指導者へのサポートは講義のみではなく、総合的なサポートがあるとより効果的。</p> <p>三重県全域を対象としているが、学生が実践的に方法論を学ぶ上で課題や問題意識を焦点化できるように、指導することが必要。</p> <p>国際協力は必要であり、発展途上国への医師派遣により、グローバルな視点をもつ総合診療医の養成が可能だと思われる。しかしながら、それらの医師に本邦の高齢者医療への関心と診療面での貢献が育成できるかどうかは疑問があり、「海外総合診療医チャレンジコース」は本事業の趣旨からして再考が必要。</p>			